

競輪場

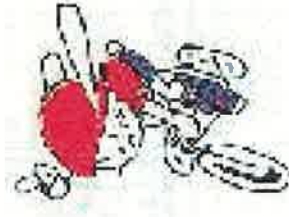


東田小学校区にある競輪場は、元々は昭和18年に陸上競技場として建築されたのが始まりです。陸上競技場として使われていた期間は短く、昭和18年から昭和24年の6年間だけででした。その後、今の豊橋競輪場になりました。

今の私設になるまでに、何度も改修工事がありました。その工事と一緒に、競輪場の周りの建物の環境も整えられていきました。その時に作られたのが、現在も残る朝倉川に架かる東田橋や、車で来場するファンのために作られた周辺の多くの駐車場です。全国から来るファンのためもあり、朝倉川はとてもきれいに舗装され、今でも地域住民の手で維持されています。

＜豊橋競輪のマスコットキャラクター＞

◎2004年までのキャラクターはうさをイメージした「リンリン」。2005年からは「まくる君」に変わりました。



「リンリン」



「まくる君」

